

2018年度
新潟国際情報大学
国際理解講演会

なぜ日本の 古民家が 台湾に移築 できたのか ～日本建築再考～

2018 11/17 sat.
14:00～16:00(開場13:30)

明治時代に建築された岩手県の古民家が、
台湾の地に移築されました。
丁寧な解体作業、膨大な資材の運搬、
そして日本古来の技術で再び建築するという
大事業はどのように成し遂げられたのか。
古民家の移築構想を実現した
台湾の財団法人代表をお招きし、
日本建築の魅力、日台の双方の未来について、
うかがいます。



講師：邱 明民氏

(財団法人大河文化基金会理事長)

略 歴

1990年 明治大学 政治経済学部経済学科 卒業
1992年 専修大学 商学研究科 商業政策修士学位取得
1994-1999年 中華民国経済省入省
ビジネス政策を担当。その後、多くの地方自治体や
民間団体に連携し、地方の発展に貢献。
1999-2003年 南投県 震災復興委員会顧問
2004-2006年 彰化県 県知事秘書
2006-2009年 神戸大学自然科学研究科博士課程入学
博士(地域空間創生)取得
2011年 大河文化基金会 理事長就任
1995年の阪神淡路大震災と1999年の台湾大地震の
際に日本とのボランティア交流
2004年 福井県の古民家を台湾「一滴水記念館」として移築開始
2009年 完成
2014年 岩手県西和賀町の古民家「清吉稲荷」移築合意
2014年解体開始
2019年台湾で復元開始予定
2017年 新北投駅舎 移築、再建完成

- 会場：新潟中央キャンパス 9階 講堂
〒951-8068 新潟市中央区上大川前通 7番町 1169
- 定員：先着 200名(申込必要)
- 参加費：無料
- 後援：新潟県教育委員会、(公財)新潟県国際交流協会
- 申込方法：

インターネット専用サイト

[http://www.nuis.ac.jp/
pub/h30koenkai.html](http://www.nuis.ac.jp/pub/h30koenkai.html)



往復はがき、E-mail koenkai@nuis.ac.jp

※氏名、連絡先電話番号を明記ください。

申込み・問い合わせ先

新潟国際情報大学国際理解講演会係

〒950-2292 新潟市西区みずぎ野3-1-1

TEL：025-239-3111 (代)